

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5340 民俗芸能論			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	H206教室				
代表教員	長尾 洋子				
担当教員	長尾 洋子				
テーマと到達目標	テーマ：近現代における民俗芸能 1. 近代に鑑賞と研究の対象として発見された「民俗芸能」（郷土芸能、地域伝統芸能などとよばれるものも含む）が、いかに演じられ、伝承され、意義づけられてきたかを学ぶ。 2. 学んだことをベースに、総合文化学科の専門科目にふさわしい思考力、文章力を培うことを目指す。				
概要	現代においては生活者自身による芸能がかつて持っていた人生の節目としての意義や、共同体の絆を維持する役割などは希薄になるばかりである。一方で、イベントを盛り上げる華やかなパフォーマンス、人びとのエネルギーの凝集・発散といった効果がみとめられて、地域振興や教育の場面で伝統的な地域芸能が脚光をあびている面もある。そうした民俗芸能の姿を信仰、娯楽、地域社会、若者、学校、社会情勢や政治との関わり、観光化、といったさまざまな角度からあらためて見つめなおす。また、民俗芸能についての研究史、研究課題などにもふれる。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	9/16 イントロダクション／民俗芸能にふれたことがありますか？				オンデマンド型オンライン授業
第2回	9/30 民俗芸能研究とはじめ／現代の民俗芸能(1)				対面授業
第3回	10/7 現代の民俗芸能(2)				対面授業
第4回	10/14 獅子舞の世界				対面授業
第5回	10/21 伊勢太神楽				対面授業
第6回	10/28 地域コミュニティにおける若者たちと獅子舞				対面授業
第7回	11/4 盆踊り				対面授業
第8回	11/18 よさこい				対面授業
第9回	11/25 よさこいの全国への伝播				対面授業
第10回	12/2 地芝居の盛衰(1)				対面授業
第11回	12/9 地芝居の盛衰(2)				対面授業
第12回	12/16 1990年代以降の民俗芸能研究(1)概論				対面授業
第13回	12/23 1990年代以降の民俗芸能研究(2)壬生の花田植				対面授業
第14回	1/6 1990年代以降の民俗芸能研究(3) おわら風の盆				対面授業
第15回	1/13 まとめ				対面授業
成績評価の基準	出席、各回コメント、学期末課題。 ※各回コメントは5点満点で採点する。 ※全開講回数の3分の2以上出席した者が成績評価の対象となる。				
履修にあたっての留意事項	授業内で指示する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業					

の優先条件

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	なし	教科書(ISBN)	
参考文献	神野知恵（2025）『旅するカミサマ、迎える人々 ―伊勢大神楽と「家廻り芸能」』大阪大学出版会 その他、授業中に指示する。	参考文献(ISBN)	長尾洋子（2019）『越中おわら風の盆の空間誌―くうたの町>からみた近代』ミネルヴァ書房 矢島妙子（2015）『「よさこい系」祭りの都市民俗学』岩田書院 広島県北広島町編（2014）『壬生の花田植 ―歴史・民俗・未来：ユネスコ無形文化遺産』吉川弘文館 服部幸雄（2007）『歌舞伎の原郷 ―地芝居と都市の芝居小屋』吉川弘文館

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--